



Environmental Report 32
環境経営レポート

対象期間 2021年10月～2022年9月

森林と共生できる暮らしを！



MEIKYO

明京電機株式会社

1.	組織の概要	2/15
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業所名及び代表者 ■ 所在地 ■ 環境管理責任者及び担当者 ■ 事業の概要 ■ 事業規模 ■ 製品紹介 	
2.	対象範囲	4/15
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 認証・登録番号 ■ 認証・登録範囲 ■ 対象期間 ■ 発行日 	
3.	環境経営方針	4/15
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基本理念 ■ 環境経営方針 	
4.	短期（32期）・中期（33期）環境経営目標	5/15
5.	環境経営計画	6/15
6.	環境経営計画に基づき実施した取組内容	7/15
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実施体制と役割 ■ 実施した取組内容 	
7.	-1 環境経営目標及び計画の実績・取組結果とその評価	9/15
	<ul style="list-style-type: none"> ● 実績には二酸化炭素排出量を含みます。 	
	-2 来期（33期）の環境経営目標及び計画	12/15
8.	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	14/15
9.	代表者による全体の評価と見直し・指示	15/15

1. 組織の概要

事業所名及び代表者

明京電機株式会社
代表取締役 社長 寺地 辰己

所在地

〒114-0012
東京都北区田端新町 1-1-14
東京フェライトビル
電話 03-3810-5580
FAX 03-3810-5546



2015年9月移転 東京フェライトビル

環境管理責任者及び担当者

管理責任者	石河 昇
連絡先	電話 03-3810-5580 FAX 03-3810-5546 E-mail ishikawa@meikyo.co.jp
環境事務局	小柴 隆紀
推進委員	中島 さつき

事業の概要

- ・ネットワーク機器の開発・製造・販売
- ・測定制御機器の開発・製造・販売
- ・特殊ハード製品の開発・製造・販売
- ・ソフトウェアの受託開発
- ・PDUの輸入・販売

事業規模

創立	平成2年
設立	平成2年
資本金	3000万円
年商	791百万円 (32期：2021年10月1日～2022年9月30日)
従業員	41名（契約及びパート社員含む）
延床面積	本館4F 約330㎡ 別館2F 約150㎡ 別館5F 約139㎡

2. 対象範囲

認証・登録番号	0007178
認証・登録範囲	・遠隔電源制御機器の開発・製造および販売 、PDUの輸入・販売
対象期間	2021年10月1日より2022年9月30日まで
発行日	2022年11月15日

3. 環境経営方針

基本理念

明京電機株式会社は、社会環境の変化および、生活スタイルの著しい変化に対応した世の中の情報インフラに寄与すべく、それらに貢献できる製品作りを企業理念といたします。

そのために環境経営システムをベースとした環境への負荷削減目標を策定し、限りある資源の有効活用を推進して参ります。

環境経営への取り組みに当たっては、中期目標の設定、関係関連法規の遵守、全従業員参画による環境活動等を実施し、環境経営を継続及び改善し持続可能な社会への貢献を目指します。

環境経営方針

1. 「環境汚染の予防と環境保全活動」を実行し、法令遵守に努めます。
2. 電力、水等の資源を有効に使うことに努めます。
3. 廃棄物の削減とリサイクル化に努めます。
4. 化学物質についてはその維持管理に努めます。
5. 製品サービスについては節電及び二酸化炭素排出量削減に努め、環境に供するものの提供に努めます。
6. グリーン購入については環境に配慮した資材購入に努めます。
7. 環境方針について全従業員に周知し、環境意識の高揚に努めます。
8. 働き方改革と COVID-19 に配慮した職場環境を整え、維持します。

2022年11月11日
明京電機株式会社
代表取締役 社長

寺地 辰己

4. 短期（32期）・中期（33期）環境経営目標

* 中期の環境経営目標は事業計画に関連づけられています。

	今期目標	中期目標
	【32期】2021年10月1日～2022年9月30日	【33期】2022年10月1日～2023年9月30日
二酸化炭素	22,953 kg-CO2	23,976 kg-CO2
	※2017年東京電力調整後排出係数「0.462kg-CO2/kWh」を使用。	
電力	49,682 kWh	51,897 kWh
灯油	0 L	0 L
ガス	0 Nm3	0 Nm3
ガソリン	0 L	0 L
水	168 m ³	185 m ³
資源	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙の購入 151 kg ・梱包材使用量 3.526 t ・グリーン購入 推進 	<ul style="list-style-type: none"> 166 kg 3.836 t 推進
廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ削減 2,161 kg 【内訳】 一般事業系廃棄物 1,788kg 産業廃棄物 373kg 	<ul style="list-style-type: none"> 2,387 kg 【内訳】 一般事業系廃棄物 1,972kg 産業廃棄物 415kg
環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ・RoHS2 指令 遵守 	<ul style="list-style-type: none"> 遵守
災害訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・全ビル一斉の消防訓練参加 1回/年 	<ul style="list-style-type: none"> 1回/年

5. 環境経営計画

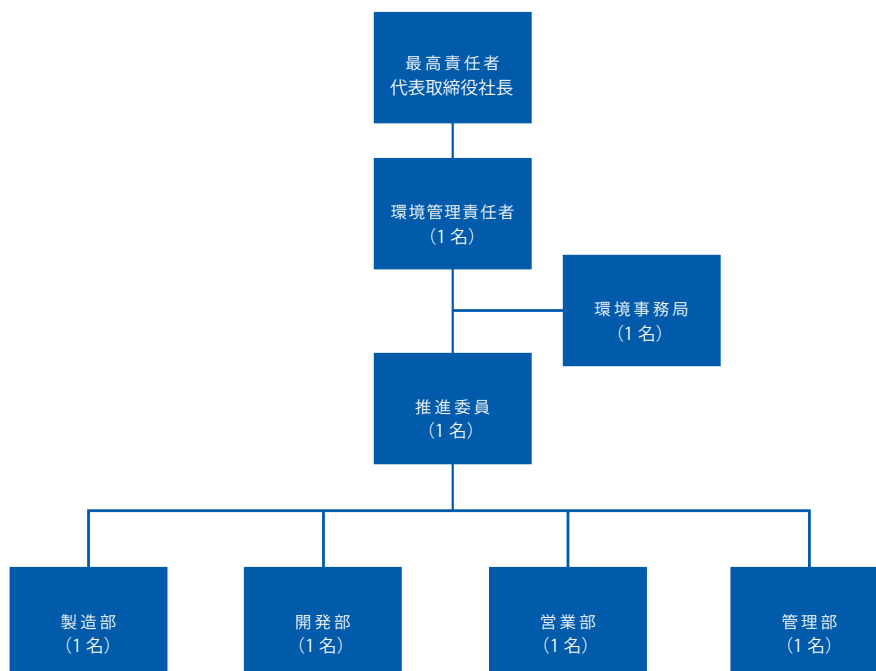
■二酸化炭素	内容	担当	日程
電力 (KWh)	①定期的な消灯 各部署にて時間を定めて消灯を実施。	営業部、開発部、製造部	随時
	②冬：エアコンの設定温度を上げすぎない。(室温 20℃目処)	営業部、開発部、製造部	随時
	夏：エアコンの設定温度を下げすぎない。(室温 26℃目処)	営業部、開発部、製造部	随時
	③PC 電源を未使用時、OFF にすることを励行。	営業部、開発部、製造部	随時
	④コピー機の省エネ使用。	営業部、製造部	随時
	⑤蛍光灯の LED 化の推進。	管理部	随時
灯油 (L)	未使用	----	----
ガス (Nm3)	未使用	----	----
ガソリン (L)	社用車を継続廃止。外出は極力公共機関を使用。	----	----
二酸化炭素 (kg-CO2)	※2017 年東京電力調整後排出係数「0.462kg-CO2/kWh」を使用。		
■水			
上水 (m ³)	①無駄のない水使用励行。	管理部	随時
下水 (m ³)	①トイレの洗浄レバーの大・小の使用徹底。	管理部	随時
■資源			
購入品の削減 コピー用紙 (kg)	①両面コピー励行。	営業部、製造部	随時
	②不必要な F A X のコピー化削減。	管理部	随時
	③FSC または PEFC 認証紙を 100%使用。	管理部	随時
梱包材 (kg)	①リユースを考慮した梱包材使用推進。	製造部	随時
	②廃棄実績の記録管理を習慣化する。	製造部	随時
グリーン購入の推進	環境対応商品マーク (エコマーク) の付いた商品を購入する。	製造部	随時
■廃棄物			
ごみ削減 (kg)	リユース・リサイクル・リデュースを考慮したごみ削減を推進する。	管理部	随時
■環境保全			
RoHS2 指令	①現行の RoHS2 対応部品を購入することを継続する。	製造部	随時
	②製品開発時に RoHS2 指令を遵守する。	開発部、製造部	随時
■災害訓練の実施			
	全ビル一斉の消防訓練の社内参加者を選出。 ビル管理会社と連携を保ち、訓練に参加する。	安全衛生委員会	9月

*FSC 認証：管理された森林で伐採した木材を消費者に届け、得られた利益を生産者に還元する国際的な取り組み。(Forest Stewardship Council®：森林管理協議会)

*PEFC 認証：各国にある森林認証を、貿易上、相互に認め合うための仕組み。

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

実施体制と役割



【役割】

最高責任者
代表取締役社長

- 1) 環境経営方針の策定及び制定
- 2) 経営資源の準備
- 3) システムの見直し・改定・評価
- 4) 環境経営レポートの承認

環境管理責任者
(1名)

- 1) システムの確立・実施・維持管理
- 2) 環境経営目標及び計画の策定
- 3) 環境経営レポートの作成
- 4) 環境管理委員会の開催とその運営
- 5) 教育・訓練の計画と実施
- 6) 環境関連法規の遵守確認
- 7) 外部からの苦情などの対応

環境事務局
(1名)

- 1) 管理責任者の補佐業務
- 2) 環境文章及び記録の作成・管理
- 3) その他の EA21 に関する業務全般

推進委員
(1名)

- 1) 廃棄物分別管理の記録
- 2) 作業工程の各種改善

各部
(各1名)

- 1) 環境方針の周知
- 2) 計画の実施及び達成状況の報告
- 3) 自部門の問題点の発見・是正・予防処置

実施した取組内容

環境経営と働き方改革を両立！

電力使用量 / 二酸化炭素排出量削減 を継続！

社内クラウド型情報管理ツールに月ごとの二酸化炭素排出量を掲示！

■クラウド型情報管理ツール導入



例)

■前年同月比	101.56%
■二酸化炭素排出量	1978 Kg-Co
■電力使用量	4280.90Kw
【詳細】本館4階：1207.0Kw (106.65%)、本館屋上：1104.0Kw (102.03%) 別館2階：621.0Kw (78.03%)、別館5階：1348.9Kw (111.89%)	
■平均気温〔気象庁発表：東京〕 ・2021年8月：27.4℃ ・2022年8月：27.5℃	
■33期目標値 10月：3,178Kw 11月：2,981Kw 12月：3,077Kw	

テレワーク、フレックスタイム制を導入。ICTの活用によりライフとワークの両立がしやすい環境や生産性の向上を実現し、電力使用量や二酸化炭素排出量の削減にも貢献！

■テレワーク導入



■フレックス制導入



■チームコミュニケーションツール活用



■MRP導入



■デジタルタスク管理ツール活用

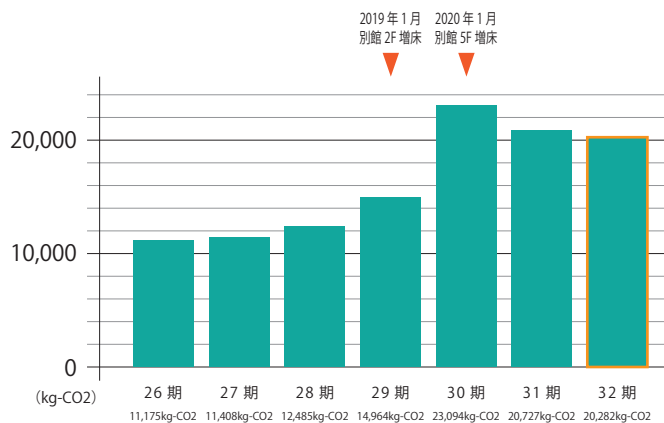


■ビデオコミュニケーションツール導入



7. -1 環境経営目標及び計画の実績・取組結果とその評価

(1) 二酸化炭素



目標 22,953kg-CO2

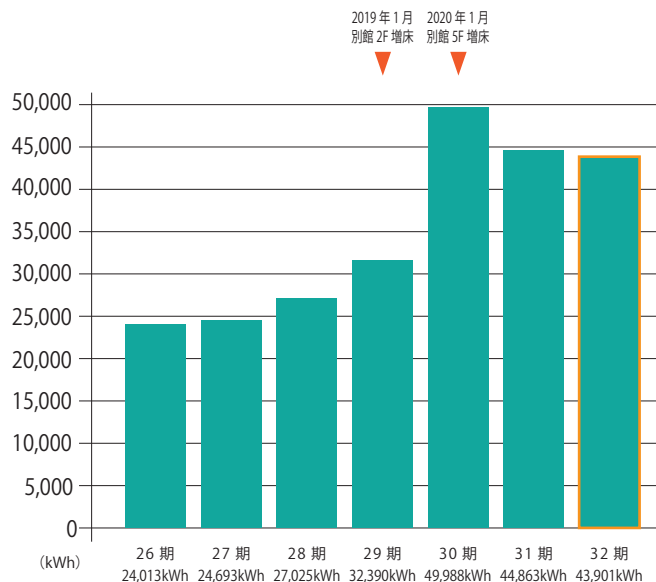
実績 20,282kg-CO2

結果 ○

【結果】 2,671kg-CO2 (11.6%) 減

【評価】 業績の大幅な伸びにもかかわらず、二酸化炭素の排出量は削減できました。電気使用量の減少に伴う数字です。33期の目標値は計画通りとしますが増床が計画されていますのでデータ収集を基本とするよう指示しました。

(2) 電気使用量



目標 49,682kWh

実績 43,901kWh

結果 ○

【結果】 5,781kWh (11.6%) 減

【評価】 数名の社員増はありましたが電気使用量は目標に対し11.6%減、昨年実績からは2.1%減となりました。33期は二酸化炭素同様、目標値はそのまましデータ収集を目的として実績値を取るよう指示しました。

(3) 灯油使用量 8期連続目標達成：0

(4) ガス使用量 8期連続目標達成：0

(5) ガソリン使用量 8期連続目標達成：0

目標 0

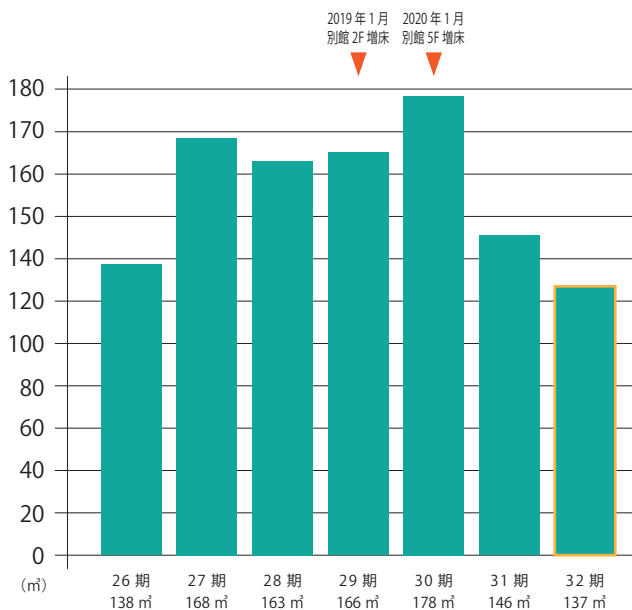
実績 0

結果 ○

【結果】 継続達成

【評価】 灯油・ガス・ガソリン共、未使用継続ができたようです。33期も継続です。9期連続達成を目指すように指示しました。

(6) 水使用量



目標 168 m³

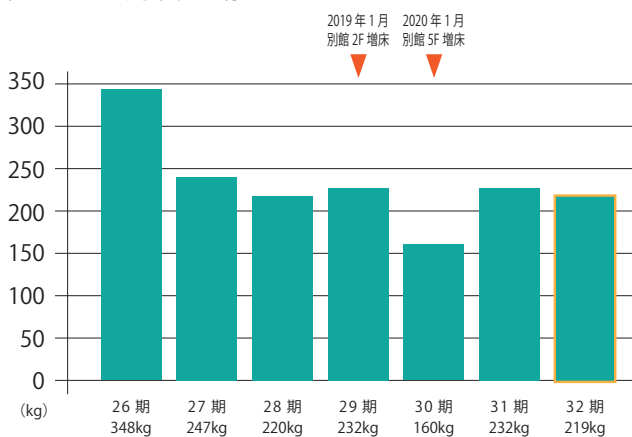
実績 137 m³

結果 ○

【結果】 31 m³ (18.5%) 減。

【評価】 32期の水使用量は新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策に起因する生産調整が行われたことが要因でしょうか。かなりの減達成です。33期は増床ありきです。データ収集に専念です。

(7) コピー用紙の購入



目標 151kg

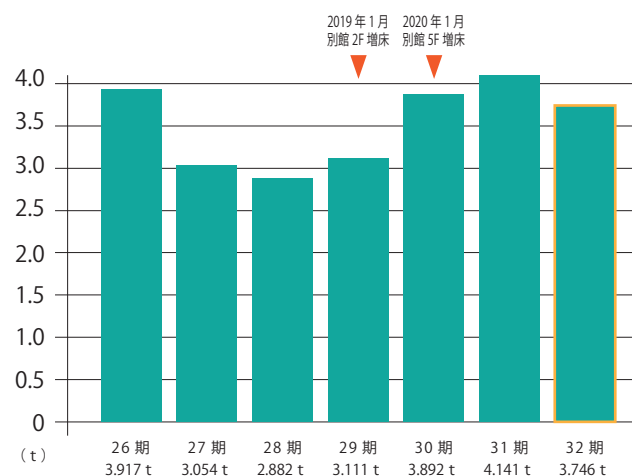
実績 219kg

結果 ×

【結果】 未達。68kg 増。

【評価】 目標に対しては増となりましたが前年度対比では減となっています。目標値の設定が難しそうですが次回計画時には検討するよう指示しました。

(8) 梱包材使用量



目標 3.526 t

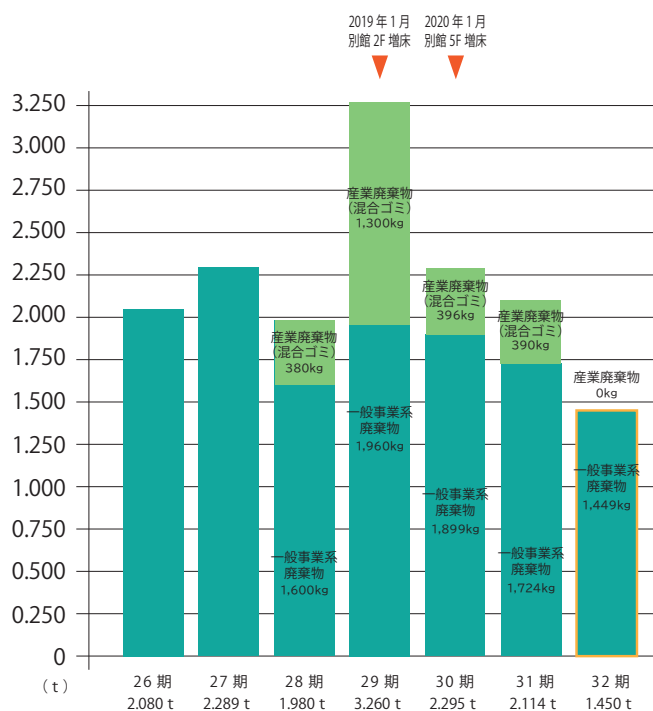
実績 3.746 t

結果 ×

【結果】 未達。0.22 t 増。

【評価】 生産量イコール梱包材使用量です。目標値、計画値は再考の余地がありそうです。検討するよう指示しました。

(9) 廃棄物



目標

2,161 t

一般事業系廃棄物 : 1,788kg
産業廃棄物 : 373kg

実績

1,450 t

一般事業系廃棄物 : 1,450kg
産業廃棄物 : 0kg

結果

○

【結果】 達成。0.711 t (32.9%) 減。

【評価】 一般事業廃棄物の削減ができたことと産業廃棄物「0」*により大幅削減との実績となりました。33期も中期計画通りの数値を目標とします。

*33期初頭に産業廃棄を実施。

(10) 災害訓練の実施

■消火器の説明と実施訓練



目標

訓練参加

実績

訓練参加

結果

○

【結果】 達成。

【評価】 新入社員3名が参加しました。合同火災訓練は消火器の実体験だったようです。体験は貴重です。33期は新入社員でなくとも参加するようにと指示を出しました。

7. - 2 来期（33期）の環境経営目標及び環境経営計画

* 環境経営の目標は事業計画に関連づけられています。

<p>二酸化炭素</p>	<p>【環境経営目標】</p> <p style="text-align: center;">23,976 kg-CO₂</p> <p>※2017年東京電力調整後排出係数「0.462kg-CO₂/kWh」を使用。</p>
<p>電力</p>	<p>【環境経営目標】</p> <p style="text-align: center;">51,897 kWh</p> <p>【環境経営計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 定期的な消灯 各部署にて時間を定めての消灯を実施 2) エアコンの適正温度設定 冬：エアコンの設定温度を上げすぎない。 (室温 20℃目処) 夏：エアコンの設定温度を下げすぎない。 (室温 26℃目処) 3) パソコンの電源管理 未使用時の電源 OFF を励行 4) コピー機の省エネ使用 5) 蛍光灯の LED 化の推進 6) 開発試験、実験の計画的な実施
<p>灯油</p>	<p>【環境経営目標】</p> <p style="text-align: center;">0 L</p>
<p></p>	<p>【環境経営計画】</p> <p>灯油ストーブの継続廃止</p>
<p>ガス</p>	<p>【環境経営目標】</p> <p style="text-align: center;">0 Nm³</p> <p>【環境経営計画】</p> <p>未使用継続</p>
<p>ガソリン</p>	<p>【環境経営目標】</p> <p style="text-align: center;">0 L</p> <p>【環境経営計画】</p> <p>社用車を継続廃止。外出は極力公共機関を使用。</p>

水	【環境経営目標】	水使用量	185 m ³
		【環境経営計画】 無駄のない水使用取行 トイレの洗浄レバーの大・小の使用徹底	
資源	【環境経営目標】	コピー用紙の購入	166 kg
		【環境経営計画】 1) 両面コピー取行 2) 不必要な FAX のコピー化削減 3) FSC または PEFC 認証紙 100%使用	
	【環境経営目標】	梱包材使用量	3.836 t
		【環境経営計画】 1) リユースを考慮した梱包材使用推進 2) 使用実績の集計を習慣化する。	
	【環境経営目標】	グリーン購入	推進
		【環境経営計画】 エコマーク商品の購入促進	
廃棄物	【環境経営目標】	ごみ削減	2,387 kg
		【内訳】 一般事業系廃棄物 1,972kg 産業廃棄物 415kg	
	【環境経営計画】 リユース・リサイクル・リデュースを考慮したごみ削減を推進する。		
環境保全	【環境経営目標】	RoHS2 指令	遵守
		【環境経営計画】 1) 現行の RoHS2 対応部品購入を継続する。 2) 新製品はすべて RoHS2 対応とする。	
災害訓練の実施	【環境経営目標】	全ビル一斉消防訓練参加	1 回 / 年
		【環境経営計画】 全ビル一斉の消防訓練参加者を選出。 ビル管理会社と連携を保ち、訓練に参加する。	

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

- ・関連法規制の遵守状況確認を毎年1回実施しており、違反はありませんでした。
- ・法規制違反の指摘及び訴訟の請求は過去5年以上ありません。
- ・地域住民などからの苦情は過去5年以上ありません。
- ・苦情受付窓口：環境管理責任者

■廃棄物処理

●廃棄物処理法

遵守

●東京都廃棄物条例

遵守

▶ 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出日：2022年6月6日

■安全衛生

●労働安全衛生法

遵守

▶ 安全衛生委員会

■化学物質

●RoHS2 指令

遵守

■公害防止

●都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（81条）

適応外

●都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（51条）

遵守

▶ 業務使用車レンタル解約継続

●フロン排出抑制法

遵守

▶ ビル管理会社

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

世界的なコロナの流行、ロシアによるウクライナへの侵攻、それらによるサプライチェーンへの甚大な影響、加えて為替市場における急激な円安の進行と弊社事業に対する影響は過ぐる32期は甚大なものでありました。

弊社のECO ACTION 活動にも結果としてその影響が顕著に現れていたと思います。例えばコロナへの感染を防ぐために、在宅勤務ないしはFlex勤務を推奨したことにより、電力使用量の削減につながったと考えます。またサプライチェーンがうまく機能しなかったことで生産調整を図り、そのために廃棄物の削減効果につながったと考えます。それぞれに目標達成につながったことは喜ばしい事ですが、外的要因による要素が助けになりました。

31期、32期環境経営方針の基本に変更はありませんが、31期はコロナ渦の為、リサイクル・リユース・リデュースの探求を33期へ向けては雇用促進や増床の計画、また新たな中長期計画策定の為に実績値の収集を基本とし活動するよう指示しています。データセンターを含むIT市場への参入強化ため、全社的に体制の見直しを行い、環境に対する貢献度の向上を目指します。環境経営目標、環境経営計画は中期計画通りとし、変更はありません。

SDGsの5つの「P」とは？ 5つのPを知ればSDGsが目指す世界がイメージできます。



次回の環境経営レポートは2023年11月頃の予定です。

2022年10月30日
代表取締役 社長

寺地 辰己